入善町報

発行所　入善町役場
編集発行　責任者　竹内栄治
印刷所　池原印刷所
定価 1部 5円

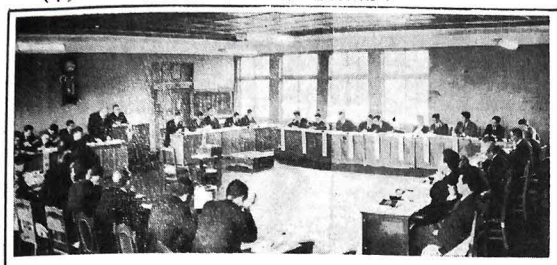
第17回町臨時議会

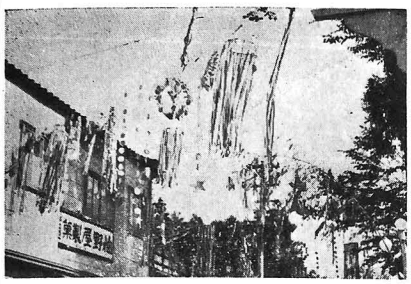
飯野中学校特別教室増築の件他十八議案、報告一件、請願六件

第十七回町議会臨時会は六月十六日招集され、同日は午前九時から全員協議会午后一時から本会議が開設された。松田議長の諸般の報告後、この議会では、第六回更正予算の専決承認議案外十八議案、報告一件、請願六件が提案され、審議の結果、議案についてはそれぞれ原案どおり可決、請願は各々採択と決定された。次に、大田議員外八名から緊急上程の「昭和三十四年産米の政府売渡価格に関する決議案」を審議、満場一致で可決、同日午後五時三十分閉会した。

議決並びに採択された案件は次のとおりである。

1. 専決事項承認の件
　三月三十一日専決された第六回更正予算で歳入並びに歳出の合計額一七二、〇七六、七〇〇円をかえず予算内において更正
2. 町税条例中一部改正の件
　固定資産税の免税額を土地二万円、家屋三万円、償却資産十五万円に引上
3. 黒東合口用水組合規約中一部改正の件
　組合を組織する団体を入善町、朝日町に。議員数を入善町十四人、朝日町六人に改正
4. 入善町立公民館設置条例中一部改正の件
　横山公民館を横山集協内に置く各館運営審議会委員定数を二十三名以内に決定
5. 入善町危険物取締条例中一部改正の件
6. 入善町火災予防条例中一部改正の件
7. 入善町の職員の給与に関する条例中一部改正の件
　国家公務員に準じて、六月十五日に支給される期末手当〇・五月分を〇・六月分に改正
8. 町議会議員期末手当に関する条例中一部改正の件
9. 土地買収の件
　飯野小中学校庭内敷地の一部（六八一坪）買収
10. 消防用小型動力ポンプ購入に関する件
11. 同噴入契約締結に関し同意を得るの件
　○シバウラ十八馬力小型ポンプ　壱台、三十万二千円。朝山分団国清筋部落常設
　○シバウラ十八馬力小型ポンプ　壱台、二十七万円。青木分団常設
12. 飯野中学校特別教室増築
　木造平屋建瓦葺八七坪（教室三、廊下、渡廊下）
13. 町道西入善駅線新設に関する件
　東狐五十里線取付より西入善駅まで延長一五八米八〇。巾員五米五〇
14. 上町君島線の舗装の件
15. 町道路線廃止に関する件
16. 町道路線認定に関する件
17. 入善町道路占用料条例の制定の件
18. 入善町農業委員会委員の推薦に関する件
19. 密附採納の件
◇予算繰越計算報告の件
◇芦崎大家庄線改修に関する請願書
◇舟見生産森林組合の振興並びに造林事業の助成に関する請願書
◇横山地区有線放送事業助成に関する請願書
◇中町商店街照明設備に関する請願書
◇バス路線新開設並びに待避所設置に関する請願書
◇上原診療所再開に関する請願書





昭和三十四年産米政府売渡価額に関する決議文

米価問題は、すべての米作農民の死活問題である。

六月二十五日からの米価審議会において、三十四年産米の米価について最終決定が致されるが、入善町議会は政府及び米価審議会に対し、次の事項を要望する。

一、昭和三十四年産米の政府売渡価格は農業団体が主張する統一価格（百五十キロ当り一一、二二五円）を早急に決定すること

右決議する。

七月のごよみ

一日（水）住民登録届出励行週間
～七日　全国安全週間
七日（火）社会を明るくする運動
　　舟見の七夕まつり
　　花火大会
十日（金）第十一回国土建設週間
十七日（金）海上安全週間（青い羽根）
二十日（月）海の記念日、土用入り
二十四日（金）新屋の大祭祭り
三十日（木）土用丑
所得税第一期、固定資産税、国民健康保険税各二期分納期限

☆七夕まつり☆

七月七日の夜は、天の川の岸にある織女星と東岸にある牽牛星とが、年に一度相逢うよりの下界の人々が二星に種々の供物を捧げて願いごとをする星祭りである。

この思想は支那から伝来し、わが国においても古くから伝へられ、万葉集にもみられる。

棚機（たなばた）の今夜
あひなばつねのごと
明日をへだてて年は
ながけむ

後世この祭りは、書道の上達や恋愛の成就なども祈る風となり、七夕笹を海や川へ流し、天の川へ届けば願いが叶うなどというが、それもけがれを物に託して送る風習に連っている。

（写真は舟見の七夕まつり）

道路占用料条例決る

六月十六日公布

道路は交通の用に供するために設けられたもので、公衆が平等にこれを利用するところに、本来の目的があることは申すまでもなく、道路の一部（勿論交通に大なる支障のない程度）に柱をたてるとか、また材料等の置場にするということ等のような道路の占用に対して、占用料を徴収する条例が六月の臨時町議会に議決された。

占用の対象となるものは、電柱、柱、さお類、広告塔、材料置場等であるが、料金は一本ごと、一平方米ごとに定められ、月額計算となっている。しかし、次に掲げるものは、占用料の減免ができることになっている。

一、法律で定めてある郵便その他国の行う事業
二、国鉄、専売公社、電々公社の事業や地方公営企業の行う事業
三、公衆の用に供する電気、ガス、水道等の事業
四、雨水、汚水の排水管理のためのもの
五、水管、ガス管の各戸引込管の敷設のためのもの
六、その他町長が特に必要があると認めたもの

なお、道路占用許可申請書は、道路占用規則も、同日公布になっている。

（注）町民各位のなかで、止むを得ない事情により町道の占用を要望される方は、町建設課に申出で、所定の手続を経て下さい。

銃・剣の届け出

進んで届け出れば違反になりません

ピストル、刀等出たら警察へ

ピストルや刀をごっそり持っておられませんか、とりわけ、ピストルは、街の暴力団等が殺人、強盗などの犯罪に用いる危険なものであります。料金は一本ごと、一平方米ごとに定められ、月額計算となっている。しかし、次に掲げるものは、占用料の減免ができることになっている。

一、法律で定めてある郵便その他国の行う事業
二、国鉄、専売公社、電々公社の事業や地方公営企業の行う事業
三、公衆の用に供する電気、ガス、水道等の事業

七月中を「けん銃などの発見届出月間」として、この際、もう一度家の中をよくさがしていただき、しまい忘れなどしているピストルや刀を発見して、もよりの駐在所に届け出られることを望んでいます。

○けん銃は、どなたも持つことができません。

警察に出して下さい。

○猟銃や空気銃で許可をうけていないものは、警察に届け出て許可を受けて下さい。

○刀、やり、なぎなたなどで登録されていないものも、警察に届け出て登録をうけて下さい。

自分から進んで届出された方は、違反になりませんから安心して届け出て下さい。

（入・警）

住民登録法が施行されて

住民登録法が施行されて、この七月一日で満七年になります。

みなさんは、すべてこの法により入善町民として登録されていますが、次の場合は、あらたに届出をしなければなりません。

一、転入（他町から入って来たとき）
二、転居（入善町内で住所が変ったとき）
三、世帯主が変ったとき（世帯主が変ったとき等）

右のことがあった場合は、その日より十日以内に、必ず届出をしなければなりません。

正当な理由がなく期間内に届出をしないときは、過料に処せられる場合があります。

あなたの住民登録は終っていますか

入善町風土記

……59回……

舟見古城趾

竹内慎一郎

舟見の東の山を「舟見の前山」という。伝説によると「大昔、舟見は現在の位置より東約八百米、垂井という所にあったが、天長年間（一、一三〇年程前）地震のため山の峯がくずれて人家を破かい埋没し、破裂した山が前方に突き出して一新山を形作った」という。山の頂に三、三ヘクタール（一万坪）の平坦地があって、狐平（きつねだいら）といい、舟見城趾であるといわれている。

前山と棚山の間にある谷間を「谷江（たにえ）」といい谷江の塘（つつみ）がある。前山は地震で破裂して出来たというが、越中各地の史料にはそのような大地震のことは見あたらない。もともと棚山と一体の台地であったものが、侵蝕によって中間に谷が出来、前山が独立したものではあるまいか。従って狐平は人の手で作ったものでなければ棚山台地の一部が残ったものといえよう。

舟見城のことについては越中古城記に「舟見村古城一東山にある。築城の年代はわからない。古老の伝えるところによると、むかし飛騨殿という人が住んでいたという。戦国の頃敗れて馬もろともに黒野の南、黒部川のほとり、いま飛騨ヶ淵と呼んでいる所から黒部川へ飛び込んで死んだという。その淵は天明の頃（一七五年程前）から自然に洩えになったと。又、云い伝えによると

「この地の郷司飛騨守五郎左近之亟の居城であった。

筆者はここで土器の破片を採取したが、室町又は鎌倉時代以前のものと思われる素焼の壺の破片であったともあれ狐平は眺望絶佳、入善全町及黒部川が一望にしてみられる本町随一の景勝地であるが登る道がやや不便で、観光道路の完成が望まれる。

右の山麓は、巴城、城の後方にある葛葉谷から引いた水路を絶たれたため落城し城主は黒部川に身を投じた。今なおそこを飛騨が淵という」と。

風野は愛本新地内、飛騨が淵は黒部川第三発電所と嘉の木の取入口との中間の絶壁下、この附近からエビや貝の化石、鯨の骨等が出た葛葉谷は棚山のふもと、谷江の塘の東側にある。

舟見城の戦、飛騨守五郎左近之亟については他に裏付けとなる史料は見あたらない。然し松倉城や加賀の御幸城にあるような空堀があり、本丸、二の丸、三の丸址も備わっているから、いつの時代かにここに城があったことはまちがいない。

て、弘治年間（四〇〇年程前）上杉氏と戦い、城の後方にある葛葉谷から引いた水路を絶たれたため落城し城主は黒部川に身を投じた。今なおそこを飛騨が淵という」と。

風野は愛本新地内、飛騨が淵は黒部川第三発電所と嘉の木の取入口との中間の絶壁下、この附近からエビや貝の化石、鯨の骨等が出た葛葉谷は棚山のふもと、谷江の塘の東側にある。

舟見城の戦、飛騨守五郎左近之亟については他に裏付けとなる史料は見あたらない。然し松倉城や加賀の御幸城にあるような空堀があり、本丸、二の丸、三の丸址も備わっているから、いつの時代かにここに城があったことはまちがいない。

湖
山
谷江
中尾山
下曽谷
城
舟見
城
熊坂
熊坂
舟見
城
舟見
遺跡
卍
卍
卍
卍
卍
安
寺
卍
卍
卍
卍
卍

昭和34年7月10発行　昭和32年5月22日 第三種郵便物認可　入善町報　（第52号）

観光入善町

キャンプに向く園家

舞子を思わせる白砂青松、ルアスの連峰―白馬岳、朝日岳の姿は、ここでは一番美しく雄大に見える―を仰ぎ、富山湾をへだてて、はるか水平線上に能登の山々を望み得るなど、見方によっては、県下随一の景勝地と言ってよかろう。

園家山は、面積五ヘクタール、高さ十七メートルの砂丘で、春は「はまぼうふう」、「しょうろ」を採る浴に、魚釣に、そしてまたキャンプにふさわしく、冬は鴨の密集地として県天然の砂丘園家山の黒部川代流水を利用しての「にじます飼育は、県下に珍らしい大規模な施設とされ、わさび田と共にその名が高い。

ここ、下新川漁業協同組合では、種卵百万粒の生産目標の施設として、稚魚五十万尾、養殖用として四万尾のコンクリート池が設けられている。

このほかに、養蚕組合経営で相当大規模な施設をもっている。

（写真上は園家山　下はつり船）

ますの釣りぼり

サクサクと踏みゆく白砂の感触、詩情をそそる緑の木蔭、枝ぶりのおもしろい磯なれ松、遠く南に日本アの数多くの観光客が訪れている。

最近、各地からの観光客が目立って増加し、区画された養魚池に、銀鱒を囓わせて群泳する〝にじます〟に見入って歓声を上げている。

今年からは、ここに釣り堀を営業し、一般客に〝にじます釣り〟のスリルを味わせていることとて、広く人気を呼んでいる。

自衛隊のコンサート

好評!! 聴衆場外に溢る

自衛隊富山地方連絡部の肝煎で、六月十日夜、自衛隊のP・Rのため、第十混成団音楽隊がキャラバーで来町、市中パレードに引続き、中央公民館ホールでコンサートが行われた。

わが町では、約四十名近い編成のなまの演奏会が珍しかったのか、来聴者は会場に溢れる盛会さで、曲目にマンボまで飛び出し、殊にスッペの序曲軽騎兵には深く感銘を受けた。最後の軍艦マーチにはアンコールの注文が出るなど、老若男女を問わず、フィナレーまで静かに耳を傾ける熱心さであった。

自衛隊へ一日入隊

先月、岐阜と小牧のベースに一日入隊して隊員の日常生活を見て来た。いまの自衛隊は旧軍隊の個影は見当らずかえって先住のアメリカさんの生活を覗見た感がした。（それは驚かす便器とシャワーのせえかな）

岐阜基地（百二十万坪）で空挺補助第二補給処長に会ったが、処長のインタビュウの演出のうまさに驚き、次にハイウエスト・ワンピースのグラマー美人秘書の出現に面喰った。

月に数千名の見学者があるそうであるが、外来者の応待には終業らぬ親切さで、如何に P・R に奔走しているかが伺われた。

一番困ったのは主食で、生れて初めて四週間全食（白米・麦・外米・人造米）なるエタイの知れないものを喰わされ閉口した。この飯を教育隊の二士がおかわりするのッウダンもうな。

夕食後隊員出身隊員（藤村信保一尉八青木ン）と懇談して一夕を共にした。若い隊員でも自分の考えを率直に述べる明るい顔が多く、マネービルの思想が、ここまで普及しているのには一驚させられた。

空石両隊の話は別として、今日此頃の若い人達の修業題、就職態度を考えるとき、最新の設備と最高の技術を身につけるのに充分な給与の裏付けのある自衛隊に入隊してはと、云って見たくなるほどで、小牧基地だけで若い隊員が年后四時から夜間大学に通学している者が百名を超えるこ云うことである。（T日生）

農村振興特別助成事業実施計画

B地区（入善・椚山・横山）

事業	目的	事業量	事業費
ミルスポット	機種	2合	108,000円
動力振粉機	機種	4合	1,296,000円
レンゲ刈取機	機種	5合	576,000円
土地改良	施設	7合	268,000円
土地改良	施設	1合	72,000円
土地改良	施設	2合	144,000円
土地改良	施設	1合	39,000円
土地改良	施設	21合	1,605,000円
土地改良	計	合	4,108,000円

D地区（舟見・野中）

事業	目的	事業量	事業費
ミルスポット	機種	1合	54,000円
動力振粉機	機種	8合	432,000円
動力調製機	施設	1合	38,000円
土地改良	施設	1合	19,000円
コンクリート	施設	20合	1,126,000円
土地改良	計	合	1,665,000円

中野学童教育を正常に

区長会学校建設を支持

合併後半年、未だに分散教育をよぎなくされている野中小学校の学童の処置について、このほど、六月二十七日中央公民館ホールで、米沢町長より二十四年度の予算概要の説明後、野中小学校問題の経過報告があり、施設不備のための学力低下による学童の将来に言及。見るに忍びなきことの窮状を訴えた。

このことについて、町としては、最小規模（六教室職員室、特別教室、給食室講堂八7×13）約一千三百万円の見積工事費）の校舎建設計画のあることを抜擢して、各区長の意見を求めた。

この野中小学校建設計画について質問討議ののち、満場拍手によって、区長が一丸となり、町の方針を支持するとともに、各地区民の区長協議会の司会で協力して承を得ることを申し合せ町当局議会が毅然たる態度を堅持することを要望した。

夏季定期大掃除

……七月二十から七月三十日まで……

原爆ゆるすまじ

一路広島へ一千紙行進

また八月がやってくる。八月といえばピカドンの恐しさを誰しも思い出される。

ことしも、八月六日全世界の代表者が広島へ結集し、原水爆禁止のために討議することになっています。

（原水爆禁止入善協議会長）

補助が三倍四倍に

納税貯蓄組合規則変る

いままでは、組合員の数によって補助金が交付されていたが、このたび、次のように改正されました。

改正の要点は区ごと部落ごとの加入率に、更に納税の実績により交付されます。町内全員（組合員）が完納の場合はいままでの三倍四倍の補助金が交付されます。

例えば、ある部落が全員加入のうえ、税金が完納されれば、部落の税総額八千万円に対して三万二千円（改正前最高一万二千円）補助金が交付されます。確かに部落方雇費の大きな財源となりますから、区内部落内で相談されて、どしどし納税貯蓄組合を設立されることをおすすめします。

（補助金の交付率）

納税率＼加入率	100%	90%	80%
100%	4/100	2/100	1.5/100
90%	2/100	1.5/100	1.0/100
80%	1.5/100	1.0/100	0.5/100

（詳細は税務課に問い合せて下さい。）

社会福祉へ寄附

去る六月二十三日、入善警察署より、差出人不明の一通の封書が夜場民生課に届けられました。

中には一見して子供とわかる手紙に添えて、百円札一枚と十円銅貨一枚が同封してありました。この手紙には関係者一同深く感動致しましたが、次に原文のまゝ紹介し、紙上を借りて厚く御礼申上げます。

署長殿

私のお願いを聞いて下さいませ。

そのお願いは、少しのお金ですが手足の不自由な人へこのお金を送ってあげて下さいませ。お願いします。

それからこの十円のお金は切手に使って下さい。

尚このお金は、その理由を書いた手紙に同封し、身体障害者で最も困っておられる人を選び送付致しました。その他に今月中左記の人達から町の社会福祉事業資金の御寄附がありましたので紙上をかり厚く御礼申上げます。

（社会福祉事業資金の御寄附）

愛の手で明るい社会を

法務省

七月一日より一ヶ月間に亘り、法務省主唱により「社会を明るくする運動」が全国的に行われます。

犯罪のない理想的な明るい社会をつくるということは、協力がなければ到底その目的を立派に成し遂げることは不可能かも知れませんが、一般に犯罪者に対する世間の誤解が冷たく、そのために再び悪しい犯罪をひき起させた例があまりにも多いのであります。

犯罪者と云えども一個の人間であります。

犯罪をした者の改善、更生及び犯罪予防については保護観察官や保護司がその職務として、日夜奮斗しておりますが、一般の方々に、お力添え下さいますようお願いします。

なお、「社会を明るくする運動」の一環行事として県内の各更生保護施設に収容されている人達に贈るため、「愛の図書寄贈運動」を保護司会、婦人会、中学校等を通じ、県下全般に亘り実施しておりますので、この協力方につきましてもよろしくお願いします。

（社会を明るくする運動富山県実施委員会）

ひえを摂減しよう

川へひえを流さないよう

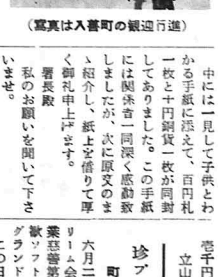
この広島大会を中心に全日本の運動にもり上げるため、東京―広島間の新潟―広島間の2コースにわかれて、太平和行進が六月一日からはじめられます。

入善町は六月十九日、町内の婦人層を中心に労働者学生、赤ちゃんまでが大行進歓迎のために沿道をうずめつくし、その観迎ぶりは全国代表者も「この平和への叫びを広島大会に反映しなければ」と話しておられました。

中央公民館前の観迎大会には数百人が結集した。元の観迎の辞などの後、入善町原水協の決議〝二度と原爆投火地にならぬが〟と誓いあい、「原爆ゆるすまじ」の合唱により行進が初められた。

私たち入善町民は、人間としてただ平和のために、世界平和を願うため、原水爆禁止をより大きな運動として、限りなき叫びを続けなくてはなりません。

（原水爆禁止入善協議会長）



（写真は入善町の観迎行進）

珍プレーの続出

町内ソフト大会

六月二十一日、入善町ドリーム会主催の社会福祉事業慈善第一回町民官公庁交歓ソフトボール大会が呉紡グランドで行われた。

この日は盛夏を思わせる日差しで、絶好のスポーツ日和、十六チームが三コートに分れて熱戦を繰りひろげた。

ゲームは親善一点張りでユニホームもまちまちの、背広姿や十年振りにボールを手にして戸惑った怪好珍珍プレー、迷プレーが続出。空振りランニングホームが出るなど爆笑、また爆笑であった。

三振第一号、オールすべり込み痛かったで賞、汚れたで賞、日に焼けたで賞等の続出に、仮令終始楽しく、和気あいあい裡に終了した。

優勝賞は次のとおり、優勝保護区、次勝入善駅、三勝青木ドリーム会、四勝町職会チーム（準決勝は疲れて棄権負け）

なお、この日の慈善鍋の収入は一、二一五円であったが、長島ドリーム会から五、二一五円の醵金があった。

（写真は町職さんのピンチヒッター振り）

壱千円

立山町　田中次郎市氏